

国際協力35年

十月十七日に岡山市で開催された第五十九回新聞大会（日本新聞協会主催）で「人道支援におけるメディアの役割」AMD Aの経験を通じて」と題して記念講演をした。全国の報道関係者の方々に聴いていただき、幸せだった。山陽新聞社のご配慮に感謝したい。

医学生の中から「国際協力」の夢を追って三十五年。AMD Aを設立してから二十二年になる。国連NGOとしてアジア、ア

AMD A代表

菅波 茂

フリカ、そして中南米など二十九カ国に支部がある。

一九九五年の阪神大震災の時に浮上した「弱者が存続」の危機にひんした時に動く岡山の精神風土」そして「国境を超える福祉」が、岡山発の国際貢献」のキーワードでもある。実に多種多様なことに挑戦した。多くの人たちの縁をいただいた。奇跡にも遭遇した。少しでも紹介できれば幸いです。

今年七月、スイス・ジュネーブで開催さ

れた国連経済社会理事会総会で、AMD Aは、総合協議資格への昇格が承認された。国連や関係機関のあらゆる分野において政策提言ができる。世界で百三十七番目、国内では四番目で、赤十字国際委員会と同等の資格となる。

「四のジュネーブ、東の岡山」人道支援の国連機関の集積地と世界で活躍するローカルNGOのネットワークの集積地をAMD Aが結んで世界の人道支援に貢献する」という遠大な夢。九四年から十年間続いた「おかやま国際貢献NGOサミット」の成果と運動する。

ジュネーブと米・ニューヨークにはAMD Aの事務所機能を設置し「国際貢献トピア岡山構想」の構図が完成した。数多くの人たちが団体の尽力があつてこその実現である。あらためて感謝を申し上げたい。



◇筆者紹介（すがなみ・しげる）岡山大学院（公衆衛生学）修了。岡山大病院勤務などを経て1981年、菅波内科開業。84年、AMD A設立。現在、アジアを中心に29支部を展開。福山市（旧神辺町）出身。59歳。岡山市檜津。

一日一題

好評連載中の夕刊随想「一日一題」の執筆陣が12月から交代します。岡山県の各分野で活躍する方々が2007年1月までの2カ月間、仕事、趣味、人生観、文化、社会問題などをテーマに健筆を振ります。ご期待ください。

12月からの執筆陣

〈月曜日〉

芦田 和正さん
(岡山県立博物館長)



〈火曜日〉

菅波 茂さん
(AMD A代表)



〈水曜日〉

坂井 俊英さん
(クラレ執行役員
岡山事業所長)



〈木曜日〉

松田 範祐さん
(児童文学作家)



〈金曜日〉

山口 裕視さん
(岡山県副知事)



〈土曜日〉

猪狩 恭一郎さん
(パリア材料
技術研究会主宰)



「一日一題」の執筆陣 12月から交代します